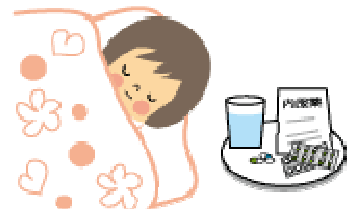


## 冬季の感染症 ノロウイルスにご注意....

毎年 11 月頃からノロウイルスの感染を原因とする嘔吐、下痢症が流行します。現在、愛媛県、福岡県、熊本県などで流行が確認されています。本県でも 11 月に入り吉野保健所管内の中学校で集団発生がありました。



特に保育所、幼稚園、小中学校などの集団生活を送る施設では、誰かがまずノロウイルスに感染し、人から人に感染し拡大します。ここでは、流行を最小限に食い止めるため、症状、感染経路と注意点、予防法をあげてみました。

### ノロウイルス感染症の特徴

- 冬季に流行し、主な症状は、嘔吐、下痢、微熱など。潜伏期間は平均 1 から 2 日。
- 患者年齢層は生後 1 歳から学童児 (保育園、小学校)、老人層 (福祉施設など) などで多く発生します。
- 二枚貝 (牡蠣) の生食には注意が必要 (十分に加熱すること) です。
- ごく少量 (10~100 個粒子程度) でも体内に入ると感染します (感染力は強い)。
- 現在、特効薬、ワクチンはありません。

### 感染経路と注意点

患者の便中や嘔吐物に含まれるウイルスがなんらかの形で、他の人の口などに入って感染します。症状が治まっても長い人で 4 週間程度は便中にウイルスがいますので、兄弟での入浴、バスタオルの共有は避けてください。

### 予 防 法

#### 食事に関する、手洗いと加熱消毒

- 日頃から、調理の前には手洗いをしっかり行って下さい。トイレの後にも、しっかり手を洗って下さい。
- 貝類を調理する際には、十分に加熱し、使用したまな板や包丁は加熱消毒して下さい。

#### 嘔吐物、下痢便の処理

- 嘔吐物、下痢便の消毒には、市販の塩素系漂白剤 (通常は 5% 程度: キッチンハイターなどの次亜塩素酸ナトリウム) なら 50 倍から 100 倍 (1000ppm) に水道水で薄めて 10 分程度浸すと有効です。処理には必ず手袋、マスクを着用することです。また、調理器具、衣類、タオルなどは熱湯 (85 度以上) で 1 分以上の加熱が有効です。